

平成19年度 事務事業評価表		担当	消防本部 総務課			内線等	99(2012)
事務事業名	消防団運営事業				事業コード	1 . 一般事務事業 (ソト事業)	
根拠法令等	消防組織法				B 条例		

総合計画での位置付け

基本目標	3 . 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	防災
------	----------------------	-----	----

事務事業の内容

対象 (受益者)	市民に対し
手 段	消防団員の定数確保並びに消防団の円滑な運営に努めることにより
想定する成果	消防行政の速やかな推進が可能となり、市民生活の安全安心につながる。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
団員定数	362人	362人	362人
団員実数	362人	362人	362人
事業費	46,875千円	43,421千円	47,654千円

成果指標

成果指標名	消防団員の確保率	市民 1 人あたりの負担額
成果指標の説明	団員実数 / 団員定数 × 1 0 0	総事業費 / 4月1日人口 (外国人登録含む)

事業の進捗状況 ( 一般 会計 ) (単位：千円)

		平成18年度決算 (実績)				平成19年度決算 (実績)				平成20年度予算 (計画)			
成果指標		100%				100%				100%			
成果指標		692円				649円				700円			
事業費	事業費	46,875				43,421				47,654			
	人件費	10,898				10,934				10,983			
	(人数)	正規	1.4	非常勤		正規	1.4	非常勤		正規	1.4	非常勤	
	合計	57,773				54,355				58,637			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他	9,556				10,606				11,908			
	一般財源	48,217				43,749				46,729			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	3	3	3	3	団員定数を満たしている。
経済効率性	2	2	2	2	事業費に、ほぼ見合った成果をあげている。
事務効率性	2	2	2	2	投入した人件費に、ほぼ見合った成果をあげている。
必要性	3	3	3	3	大規模災害が懸念される中、災害対応に必要な組織である。
小計	10	10	10	10	
施策への貢献度	3	-	3	-	生業を持つ中、消防団全体事業が年間9事業あり、また、昼夜を問わずに発生する火災に出動している。
合計	13	10	13	10	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	団員定数は満たしているが、依然として団員のサラリーマン化、また、市外への就労率も増しているため、今後は幅広い層からの団員登用も必要と考えられる。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
団員の確保に向け、魅力を感じる消防団組織にするための広報活動を充実する。
上記改善点の実施状況
団員の活動服を、消防団員服制基準に基づきいち早く更新し、団員募集パンフレットを市内一円に回覧した。

今後さらに改善すべき点

消防団員募集ポスターを市内各公所等に掲示を依頼し団員の確保に努めるとともに、魅力ある消防団づくりを推進する。

平成21年度予算に反映する項目

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的的事业は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。

